

リバイブ あざみ野 Interview

全国で話題の保険外リハビリ 横浜にある「脳梗塞リハビリブあざみ野」

くも膜下出血7年後の改善！ ふらつき改善、杖なしで歩けた！

生活習慣病の影響から40代、50代の発症もある中、満足できるリハビリを受けられず退院することも多い。本施設では「自費」という選択をすることで理学療法士によるアプローチで、脳血管疾患の後遺症を改善する新しい形を実現した。ここでは利用者の生の声を聴く。



information

男性/60代

details

目標：安全に立って歩く

状態：活動量の低下

症状：左手足麻痺
バランス能力低下

発病からの期間：7年

「本日はご利用者さまご本人の奥様にインタビューさせていただきます。宜しくお願い致します。」

「これまでの経緯について簡単に教えていただけますでしょうか？」

（奥様）7年前にくも膜下出血で倒れ、要介護度5の状態でした。最初の3年位はかなり積極的にリハビリを頑張りました。



「当施設をご利用前までの身体・生活の状況はいかがでしたでしょうか？」

（奥様）要介護度4の状態です、3年前から在宅介護を始め、半年に1回ほど脳神経外科で経過を観察。また、廃用症候群にならないように維持を目的として、週4回のデイサービスと週1回の訪問リハビリを利用していました。

「当施設を利用しようと思ったきっかけは何でしたでしょうか？」

（奥様）夫の車いす介護で手首を痛めてしまい、私自身が甲斐整形外科を受診しており、そちらから紹介を受けました。



「利用開始時に不安はありましたか？」

（奥様）送迎とトイレの問題がありました。

「実際に通われてみての変化や感想はいかがでしたでしょうか？」

（奥様）在宅になってからはリハビリも現状維持のためと思っていました。また変わる余地があると実感。会話が明るくなりました。

「当施設と今までのリハビリとの違いはどう感じましたか？」

（奥様）個人の状態を細かく把握して、改善の余地を見出していただいたと思います。

「当施設に向いている人は？」

（奥様）積極的にリハビリをしたいと望んでいる方が向いていると思います。

「同じように悩まれている方にコメントをお願いします。」

（奥様）発症から7年経ってもまだ改善の余地があるというところに、私自身も驚いています。

具体的な
変化の様子は
動画で！

